

●東京都町村議会議員講演会（東京都） 岩崎 由美
令和7年5月7日 15時00分～17時00分

目的：議員の研修

演題 「議員と住民の距離を縮めよう」～なり手不足から主権者教育まで～

講師 拓殖大学政経学部 河村和徳教授

成果

「講演会での学びと、八丈町への還元」

議会で大切なのは「多様な意見に対する落とし所」「多数決は最終手段」「他人の意見を尊重」などといった話題で講演が始まった。

議員のなり手不足という現状をふまえ、地方議員や議会に対する有権者の誤解を整理。その上で、有権者と議会の距離を縮めるための主権者教育の重要性について紹介された。

「地方議員の定数を減らすべき」「地方議員の数を減らすと行政改革に貢献する」等については大きな誤解がある指摘。これらに対し、有権者への主権者教育が非常に重要であるとの説明があった。

講演を受け、八丈町において、どのようにこれらの課題を解決するために考えられること。

○議会による講演会や住民との懇談会の実施

今年度については議会改革特別委員会による「議会改革と主権者教育」のタイトルで8月8日に講演会を実施。住民にも参加を呼びかけワークショップを予定している。これまでに実施してきた「議員と住民の懇談会」は参加する人が大体決まっている事が課題。単に要望を行なう機会ではなく、いかに政治について興味を持っていただくか、また参加していただくモチベーションが必要。参加して良かったと思われる工夫も考えなければならない。

○学校への出前授業等

自身が受けた政治教育は、どちらかというともあまり政治に興味が起きないような内容であった。

講演会中「未来の納税者のための議会」という言葉が聞かれた。これは大事な視点で、八丈町のみならず将来居住する地域の未来を背負う若手の政治教育は重要。

八丈町で「議会や政治」について現在どのような教育が行われているかの調査した上で、教育委員会や八丈高校と連携、カリキュラム内容についての検討を行い、何らかの活動ができればと思う。

○広報の充実

議会だよりはどの程度読まれているかも含め、議会についての広報の方法は充実が必要。各議員がそれぞれのツールで広報活動はしていると思うが、議会全体としてのSNSを通じた広報も可能ではないか。ただし情報が独り歩きしてしまうという一面も。

○議論する場を増やす

「議論する場＝委員会」と「議決する場＝議会」を明確にし、委員会活動をさらに充実する必要がある。同時に行政側がどのような考えを持って政策を検討しているかを委員会で学ばなければ議会での充実した議決ができない。現状ではこれについての活動がとても弱いと思う。

他にも考えられるが、まずはこれらについて掘り下げていきたいと思う。